

第四次実施計画事業シート（平成29年度事務事業評価）

新規・継続	継続	主要事業	×	事業コード	6030505
-------	----	------	---	-------	---------



【継続】の場合の区分	継続
------------	----

部等名	課等名	班等名
総務部	課税課	資産税班

事業(予算)名	固定資産評価事業
---------	----------

総合計画体系	施策の大綱	第6章 市民と行政の気持ちの共有による自立したまち						
	施策	施策3 安定的な自治体経営						
	施策の展開	(5) 財源の確保						
予算科目	会計	一般	款	2	項	2	目	3
関連計画・根拠法令等	地方税法, 富里市税条例							
事業期間	開始年度	開始する理由			終了予定年度	終了する理由		
	不明							

事業の概要	現状(課題・ニーズ)	賦課期日に存在する土地・家屋を, 固定資産税支援システム及び固定資産税電算システムを活用し, 適正かつ公平な課税を行う。						
	対象(誰・何を)	賦課期日に固定資産税課税台帳・固定資産税課税補充台帳に登録された土地・家屋及び所有者。						
	事業内容(課題・ニーズの解決策)	【賦課】課税客体, 納税義務者等の異動内容等を基幹電算に反映させ, 賦課決定後に市内に固定資産(土地・家屋・償却資産)を所有する者に納税通知書を送付する。 【土地】所有権移転, 分筆等の登記に基づく異動を処理するとともに, 現地調査等により現況地目等を確認し異動処理を行う。 【家屋】新築・増築による家屋の実地調査及び評価, 滅失家屋の実地調査, 登記・相続等に伴う所有者等の異動処理を行う。 【償却資産】申告者の整理, 申告書類の送付並びに受理, 申告内容の確認, 異動処理を行う。						
	事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> PFI <input type="checkbox"/> その他の民間活用 ()						
	事業手法選択の理由	固定資産の評価は, 膨大な量の課税客体を限られた期間で評価しなければならない, 事務を効率よく進める必要があるため。						
	協働の取組	無	協働の取組内容					

指標	単位	実績値	目標値		指標として設定する理由	
		29年度	30年度	31年度		32年度
適正な評価	—	適	適	適	適	適正な課税を行うため
後期基本計画における指標	単位	実績値 26年度	目標値 32年度	指標(後期基本計画)の達成に寄与する理由		
総合戦略における指標等	単位	基準値 (年度)	目標値 31年度	区分	指標又は重要業績評価指標(KPI)の達成に寄与する理由	
		()				
		()				
		()				

事業(予算)名	部等名	課等名	班等名
固定資産評価事業	総務部	課税課	資産税班

指標	単位	29年度(第三次実施計画)		30年度		31年度			
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
第四次実施計画	適正な評価	—	—	—	適	—	適		
			—	—	—	—	—		
			—	—	—	—	—		
第三次実施計画	活動指標*	固定資産税現年調定額	千円	2,538,340	2,642,557	—	—	—	—
		都市計画税現年調定額	千円	290,798	306,521	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—
	成果指標*	固定資産税現年調定額	千円	2,538,340	2,642,557	—	—	—	—
		都市計画税現年調定額	千円	290,798	306,521	—	—	—	—
					—	—	—	—	—

* 活動指標:事務事業の活動量を表す指標

* 成果指標:達成度を表す指標

評価	平成29年度	事業効果	非常に効果的であった
		判断理由	地方税法及び市税条例に基づき課税客体を的確に把握し、適正かつ公平な課税を行うことにより、市の歳入の根幹である市税収入の確保に重大な役割を担っている。 なお、固定資産税・都市計画税の現年課税分は、市税収入約64億円のうち、約4割以上に当たる約29億円を占めている。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	引き続き、固定資産の評価を適正に行い、納税者の理解を得られるよう、公平・公正な課税に努める。
	平成30年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	
	平成31年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	

第四次実施計画事業シート（平成29年度事務事業評価）

新規・継続	継続	主要事業	×	事業コード	6030505
-------	----	------	---	-------	---------



【継続】の場合の区分	継続
------------	----

部等名	課等名	班等名
総務部	課税課	資産税班

事業(予算)名	固定資産評価替え事業
---------	------------

総合計画体系	施策の大綱	第6章 市民と行政の気持ちの共有による自立したまち						
	施策	施策3 安定的な自治体経営						
	施策の展開	(5) 財源の確保						
予算科目	会計	一般	款	2	項	2	目	3
関連計画・根拠法令等	地方税法, 富里市税条例							
事業期間	開始年度	開始する理由			終了予定年度	終了する理由		
	不明				—			

事業の概要	現状(課題・ニーズ)	賦課期日に存在する土地・家屋を, 固定資産税支援システム及び固定資産税電算システムを活用し, 正確に評価替えを行う。						
	対象(誰・何を)	賦課期日に固定資産税課税台帳・固定資産税課税補充台帳に登録された土地・家屋及び所有者。						
	事業内容(課題・ニーズの解決策)	土地・家屋について, 総務省が定める固定資産評価基準に基づき, 3年に一度, 評価の見直しを実施する。 ただし, 土地については, 毎年7月1日現在での価格が下落した場合, 特例措置による下落修正を実施する。						
	事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> PFI <input type="checkbox"/> その他の民間活用 ()						
	事業手法選択の理由	固定資産の評価は, 膨大な量の課税客体を限られた期間で評価しなければならず, 事務を効率よく進める必要があるため。						
	協働の取組	無	協働の取組内容					

指標	単位	実績値	目標値		指標として設定する理由	
		29年度	30年度	31年度		32年度
評価の見直し	—	適	適	適	適	適正な課税を行うため
—						
—						
後期基本計画における指標	単位	実績値 26年度	目標値 32年度	指標(後期基本計画)の達成に寄与する理由		
総合戦略における指標等	単位	基準値 (年度)	目標値 31年度	区分	指標又は重要業績評価指標(KPI)の達成に寄与する理由	
		()				
		()				
		()				

事業(予算)名	部等名	課等名	班等名
固定資産評価替え事業	総務部	課税課	資産税班

指標	単位	29年度(第三次実施計画)		30年度		31年度			
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
第四次実施計画	評価の見直し	—	—	適		適			
		—	—	—	—	—	—		
		—	—	—	—	—	—		
第三次実施計画	活動指標*	土地	筆	81,500	81,897	—	—	—	—
		家屋	棟	26,800	26,526	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—
	成果指標*	決定価格(土地)	千円	126,273,736	126,553,180	—	—	—	—
		決定価格(家屋)	千円	91,269,892	103,510,838	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—

* 活動指標:事務事業の活動量を表す指標

* 成果指標:達成度を表す指標

評価	平成29年度	事業効果	非常に効果的であった
		判断理由	地方税法及び市税条例に基づき課税客体を的確に把握し、適正かつ公平な課税を行うことにより、市の歳入の根幹である市税収入の確保に重大な役割を担っている。 なお、固定資産税・都市計画税の現年課税分は、市税収入約64億円のうち、約4割以上に当たる約29億円を占めている。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	引き続き、固定資産の評価を適正に行い、納税者の理解を得られるよう、公平・公正な課税に努める。
	平成30年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	
	平成31年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	